

新型コロナウイルスの影響を受けた学生への支援状況等に関する調査

令和3年
3月時点

- ◆ 調査対象 : 全国の国公立大学（短期大学を含む）及び高等専門学校
- ◆ 調査期間 : 令和3年3月30日～（4月26日時点：回答率95.5%）
- ◆ 調査趣旨 : 各大学等における経済的に困難な学生に対する支援状況や中途退学者・休学者の状況等について調査

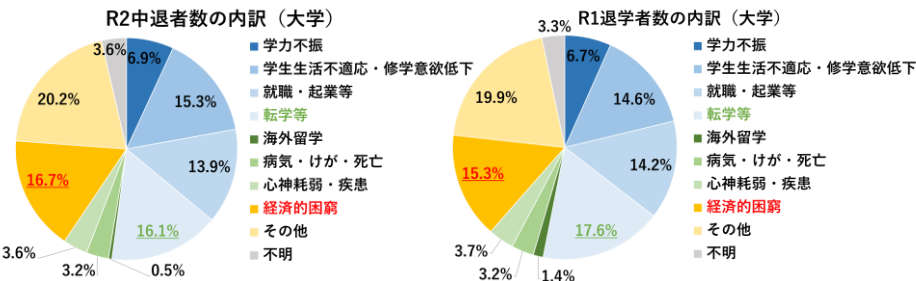
- 令和2年度に引き続き、令和3年度も各大学等において前期分の授業料の納付猶予や、大学独自の授業料等減免を実施予定。
 - ・ 全体の95.7%の大学等において前期分の授業料の納付猶予を実施又は実施予定。（全体の73.7%の大学等で納付期限を7月以降に設定。）
 - ・ 全体の70.7%の大学等において、経済的に困難な学生を対象とした各大学等による独自の授業料等減免を実施又は実施予定。
- ※授業料等減免を行っていないものの、用途を限定しない大学独自の奨学金により授業料等の支援を実施している大学等もある。

中途退学者の状況（1年間の状況を比較）

- 学生数に占める1年間の中退者数の割合は、令和元年度に比べて令和2年度の方が少ない。
- 中退の最も中心的な理由は、令和2年度と令和元年度で概ね同様の傾向。主なものは、経済的困窮（16.7%）、転学等（16.1%）など。

大学 (大学院生含む)	全体		学部1年生のみ	
	R2 (4月～3月)	R1 (4月～3月)	R2 (4月～3月)	R1 (4月～3月)
中退者数	57,913人 (2,024人)	74,129人	12,057人 (746人)	15,310人
学生数に占める 中退者数の割合	1.95% (0.07%)	2.50%	1.73% (0.11%)	2.20%

※括弧内は、そのうち新型コロナウイルス感染症の影響によるものと判明している者の数/割合
 ※高等専門学校における学生数に占める中退者数の割合は、R2：1.85%(R1：2.27%)

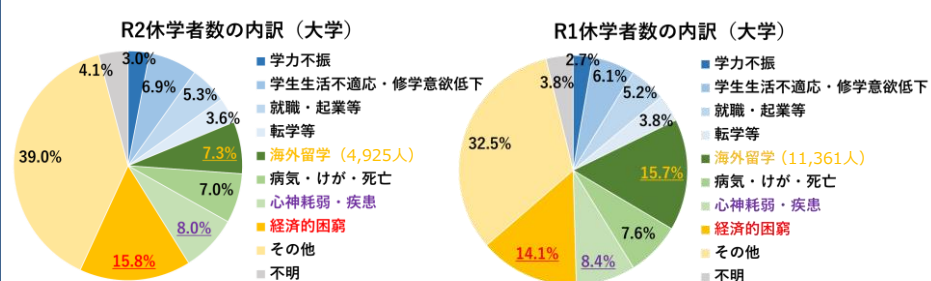


休学者の状況（1年間の状況を比較）

- 学生数に占める1年間の休学者数の割合は、令和2年度と令和元年度で、大きな変化は無い。
- 休学の最も中心的な理由は、令和2年度に比べ海外留学が大きく減少している。主なものは、経済的困窮（15.8%）、心神耗弱・疾患（8.0%）など。

大学 (大学院生含む)	全体		学部1年生のみ	
	R2 (4月～3月)	R1 (4月～3月)	R2 (4月～3月)	R1 (4月～3月)
休学者数	67,034人 (4,627人)	72,287人	6,654人 (841人)	6,476人
学生数に占める 休学者数の割合	2.26% (0.16%)	2.45%	0.95% (0.12%)	0.93%

※括弧内は、そのうち新型コロナウイルス感染症の影響によるものと判明している者の数/割合
 ※高等専門学校における学生数に占める休学者数の割合は、R2：0.97%(R1：1.13%)



新型コロナウイルス感染症の影響は今後も続くと考えられるため、引き続き状況を注視するとともに、大学等と連携して学生へのきめ細かな支援を継続して実施。